

社会資本整備審議会 道路分科会
平成30年度 第1回中部地方小委員会

1. 日 時 平成30年12月18日（火）13:30～15:00
2. 場 所 名古屋合同庁舎第2号館 3階共用大会議室
3. 出席者委員
 - いたや あけみ
板谷 明美 三重大学生物資源学研究科 准教授
 - くらうち ふみたか
倉内 文孝 岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
 - くりはら だいすけ
栗原 大介 （一社）中部経済連合会 常務理事
 - ◎なかむら ひでき
中村 英樹 名古屋大学大学院環境学研究科 教授
 - やまだ えり
山田 恵里 名古屋市立大学大学院経済学研究科・経済学部 講師

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

議 事 概 要

計画段階評価について

<浜松三ヶ日・豊橋道路（仮称）>

- この道路の効果を定量的に表現する工夫が必要
- 広域的な交通を担う役割の道路であるため、アンケートの対象範囲をもう少し広げることができないか。
- アンケート項目をもう少しシンプルに表現してはどうか。

<国道153号 飯田南道路>

- 比較表における各案の効果の程度をもう少し具体的に表現すべき
- 道路の使われ方を詳細に分析し検討を進めて頂きたい。

新たな広域道路交通計画について

- 新たな広域道路交通計画の内容について議論。
- ビジョンにおける将来像の表現やネットワーク計画における選定の考え方についてご意見をいただいた。

以上